

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年6月1日～ 2023 年5月31日)

自社の太陽光発電設備で
クリーンエネルギーを供給中！



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



～ SDGsへの取組 ～

脱炭素社会へ向けて、
太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの供給を行い、
化石燃料の使用による発電時のCO2削減を目指しています。



有限会社 荒木電工



環境経営イメージキャラクター
環境くん (かんぼくん)

※1.本書の情報を転載、複製、改変等は禁止いたします。
※2.キャラクター等は著作権にて保護されております。

発行日： 2023年6月8日

＜ 目 次 ＞		1
1. 経営方針		2
2. 環境経営方針		3
3. 会社情報		4
4. 許可、届出関係		5
5. 事業内容の紹介		6
6. 環境経営組織図		7
7. 環境経営目標及びその実績		8
8. 太陽光発電の実績		9
9. 環境経営計画、取組結果とその評価		9～10
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無		10
11. 代表者による全体の評価		10

- ◆ 有限会社 荒木電工は**地域密着型の設備工事専門店**として事業活動を行っております。

電気・空調・給湯器のレスキュー隊!



(有)荒木電工

コンセント1個から修理の事まで

設備の【販売 / 施工 / 点検 / 修理】見積無料

0824 72-7800

営業時間 7:00 ~ 18:00 定休日: 日 / 祝 (土曜不定休)

〒727-0005 庄原市川手町 76-1



エコアクション21
認定番号 001119



全メーカー
取扱 OK!

荒木電工イメージキャラクター
電工くん(でんこうくん)

1. 経営方針

1-1. 社長あいさつ

有限会社荒木電工は、庄原市、三次市を中心とした地域密着型の工事専門店（電気・空調・給湯器・各種設備等）として1989年（平成元年）より事業を展開しております。

公共工事等で培った設計技術、施工管理、品質管理、維持管理に係る能力をベースに民間工事まで幅広く活用し、取り扱う設備機器を通じて地域貢献を目指しております。

また刻々と変化する時代に対して、お客様のニーズに応えるように新商品の情報収集や専門技術の向上を行いながら、提案型の工事専門店として、日々努力して参ります。



代表取締役 荒木 和也

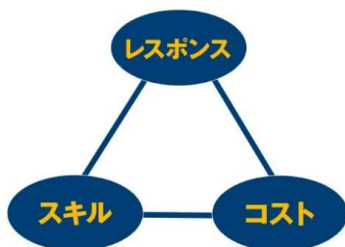
1-2. 企業理念

◆スローガン『コンセント1つから修理の事まで！』を掲げ、お客様の日々の生活に欠く事の出来ない設備機器を通して多種多様な【商品/技術】の中から、ご要望にあった【提案/工事】を行い安心して生活できる社会の実現に貢献する。

1-3. 行動方針

◆当社は、下記の【3つのバランス】を重視して、お客様のご要望や、お困りごとに対応して参ります。

①【レスポンス】 ⇄ ②【コスト】 ⇄ ③【スキル】



-
- ①【レスポンス】とは、お客様のご要望や現状の問題点等をヒアリングし、迅速に現場確認に行き、案件をスピーディーに進めること。
- ②【コスト】とは、お客様のご要望合った商品や工事内容を提案した上で、その内容に応じた価格が提案出来ること。
- ③【スキル】とは、お客様とのヒアリングと現場状況の的確な判断により、お客様のニーズに合った内容を実現できる、提案力や施工技術を身に付けていること。
-

2. 環境経営方針

【環境経営方針】

2-1. 環境経営理念

有限会社 荒木電工は、本業である設備工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

その事業活動を通じて、地域社会への貢献を目指し、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

2-2. 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努め、燃料費削減を重点的に実施します。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物の再生資源化率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 塗料や接着剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。


2020年2月25日制定

有限会社 荒木電工

代表取締役 荒木 和也

2-3. エコアクション21の認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:	有限会社 荒木電工
対象事業所:	本社、第一倉庫 第二倉庫
対象外:	なし
活動:	建設工事及び付帯する事業



助け合いイメージキャラクター
協力ちゃん(きょうかちゃん)

3. 会社情報

(1) 名称及び代表者名

有限会社 荒木電工
代表取締役 社長 荒木 和也

(2) 事業所の所在地

本社、第一倉庫 〒727-0005 広島県庄原市川手町76番地1
第二倉庫 〒727-0005 広島県庄原市川手町76番地4

(3) 設立年月日

1989(平成元)年7月6日

(4) 資本金

300万円

(5) 事業年度

10月1日～9月30日

(6) 会社連絡先、環境経営レポート担当者名

TEL:0824-72-7800、レポート作成/担当者:代表取締役 荒木和也

(7) 事業内容

地域密着型の工事専門店(電気設備・空調設備・給排水設備・消防設備工事)

(8) 事業の規模

売上高 14,192 万円 (2020年度)

施設名	本社、第一倉庫	第二倉庫	合計	
従業員数	6	0	6	[人]
建物面積	110	45	155	[m ²]

(9) 会社の歩み

1989年(平成1年) 7月 … 設立、建設業許可(電気・消防施設工事業)
1989年(平成1年) 11月 … 電気工事業業者届出
2005年(平成17年) 10月 … 建設業許可(管工事業)
2016年(平成28年) 11月 … フロン類充填回収業者登録
2017年(平成29年) 6月 … 高圧ガス販売事業届
2020年(令和2年) 3月 … 指定給水装置工事業業者(更新/庄原市)



消防設備工イメージキャラクター
消工ちゃん(しょうこちゃん)

4.許可・届出関係

1. 建設業許可

許可区分	許可番号	許可年月日※	許可有効年月日	備考
広島県知事許可	一般 第22801号	令和2年10月4日	令和7年10月3日	電気工事業、管工事業、消防施設工事業

2. 電気工事業者開始届出

区分	番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
広島県知事届出	第01039号	平成1年11月4日	-	自家用電気工作物、一般電気工作物

3. 指定給水装置工事事業者

区分	番号	許可年月日※	許可有効年月日	備考
庄原市	第185号	令和2年3月25日	令和7年3月24日	

4. フロン類充填回収業者登録

許可区分	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
広島県知事登録	3412101290	令和3年11月24日	令和8年11月23日	第一種フロン類

5. 高圧ガス販売事業届

許可区分	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
備北地区消防組合消防本部	第2号	平成29年6月20日	-	



水周り・空調設備イメージキャラクター
管工くん(かんこうくん)

5.事業内容の紹介

5-1.取扱業務、商品等の紹介

5-2.保有資格

1. 電気工事関係

1級電気施工管理技士(監理技術者)、電気工事士(第一種、第二種、認定電気工事従事者)

2. 管工事関係

1級管施工管理技士、給水装置工事主任技術者

3. 消防設備関係

消防設備士(甲1,4,5乙4,6,7)、消防設備点検資格者(第1種、第2種)、危険物取扱者

4. その他、関連資格

あと施工アンカー(主任技士,第1,2種)、冷媒フロン類取扱技術者(第二種)、CATV技術者(第2級) 工事担任者(DD3種)、CATV技術者(第2級)

5. 技能講習

高所作業車、小型移動式クレーン、車両系建設機械(整地等)、床上操作式クレーン フォークリフト、玉掛け、ガス溶接、足場の組立・型枠・石綿作業主任者等

6. 特別教育

巻上げ機運転、足場の組立等作業従事者、自由研削といし取替え等、粉じん作業 酸素欠乏・硫化水素危険作業、大径木伐木等(チェーンソー等)、低圧電気取扱、アーク溶接

7. 安全衛生教育

職長・安全衛生責任者教育、振動工具取扱作業者、刈払機取扱作業車、丸のこ等取扱作業従事者

5-3.保有設備等

1. 特殊車両関係

高所作業車(14.5mウインチ付490kg吊)

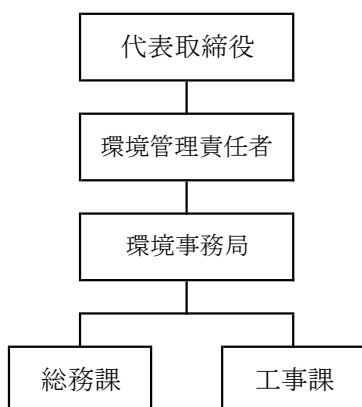
トラック(1.5t積、パワーゲート付)

トラック・クレーン車(3.45t積、4段/2.9t吊/ラジコン付)

バックホー(1.5tクラス)

6. 環境経営組織図

作成日：2020年2月25日



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7. 環境経営目標及びその実績

	基準年 2019年 度	2022.6月～2023.5月		取組 評価	2023年度	2024年度	2025年度
		目標	実績		目標		
					-4%	-5%	-6%
電力消費削減 (kWh)	6,475	6,281	6,372	×	6,410	6,345	6,281
ガソリン車燃費 (km/ℓ)	-	-	13.0	○	-	-	-
燃料削減 ガソリン (ℓ)	5,015	4,865	3,551	○	4,965	4,915	4,865
走行距離 (km)	-	-	46,024	-	-	-	-
ディーゼル車燃費 (km/ℓ)	-	-	5.9	○	-	-	-
燃料削減 軽油 (ℓ)	1,846	1,791	1,066	○	1,828	1,809	1,791
走行距離 (km)	-	-	6,337	-	-	-	-
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2)	-	-	14,444	-	-	-	-
水使用量削減 (m ³)	38	35	56	×	37	36	35
一般廃棄物のリサイクル率の向上 (%)	88.2	92.0	92.3%	○	90.0	91.0	92.0
発生量 (kg)	204.0	-	1,138.0	-	-	-	-
再資源化量 (kg)	180.0	-	1,050.0	-	-	-	-
産業廃棄物のリサイクル率の向上 (%)	87.0	90.0	97.2%	○	88.0	89.0	90.0
発生量 (kg)	768.0	-	13,268.0	-	-	-	-
再資源化量 (kg)	668.0	-	12,899.0	-	-	-	-
化学物質の適正管理	-	適正管理	○	○	適正管理	適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進	-	推進管理	○	○	推進管理	推進管理	推進管理

中国電力 排出係数 0.636kg-CO2/kWh

8. 太陽光発電の実績



	2019年6月 ～ 2020年5月	2020年6月 ～ 2021年5月	2021年6月 ～ 2022年5月	2022年6月 ～ 2023年6月
発電電力量 (kWh)	13,460	12,999	13,000	13,081

- ・設備概要: 太陽電池11.04kW(160W×69枚)、パワコン11kW(5.5kW×2台)、ソーラーフロンティア製
- ・設置場所: 本社事務所、第一倉庫の屋根



9. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の取組

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○一定程度できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力消費の削減	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	×	年間目標は未達成 昨年度の消費電力6,742kWhより370kWhと使用量は削減できているが、年間の削減量は未達成となっている。 シーリングファン及びサッシ断熱により、エアコン消費電力(冷暖時の削減により一定程度、削減効果が確認できた。 従業員の増加により、一定の電力消費の増加も一つの要因と考えられるため、見直しも含め再検討とする。 次年度は、さらなる周知徹底及び消し忘れ等が無いように努め
・不要照明の消灯(執務時、退室時)	○	
・空調の適温化(冷房28℃,暖房20℃程度)	○	
・扇風機・シーリングファンの活用(冷房の代替え)	◎	

自動車燃料消費の削減	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標(ガソリン車)	○	年間目標を達成 各項目及び各自の取組の徹底により、一定の成果を上げていると考える。 次年度も同様に日々の燃料消費量の削減に努めていく。
・数値目標(ディーゼル車)	○	
・タイヤ空気圧の適正維持	○	
・省燃費運転の実施(エコドライブ10励行)	○	
・重積載の防止(積載の整理・軽量化)	○	

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	×	年間目標は未達成 昨年度の使用量46m ³ より56m ³ と使用量が多くなった。 水道利用の見直しや、洗車時等の雨水利用の促進を徹底する。 次年度は、見直しを含め、1年を通じて、さらに雨水利用が出来る様に改善していく。
・節水の呼びかけ	○	
・手洗い・洗い物時の節水励行、自動水栓活用	○	
・社用車の洗車の最小限化、節水(雨水利用)の励行	△	

一般廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	○	年間目標を達成 分別等の活動の徹底により、一定程度成果を上げていると考える。 次年度も同様に日々の活動に努めて行く。
・分別の徹底(紙類等のリサイクル化)	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
・廃棄用紙裏面のコピー利用推進	◎	
・PET・缶のリサイクル化	◎	

産業廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	○	年間目標を達成 分別等の活動の徹底により、一定程度成果を上げていると考える。 次年度も同様に日々の活動に努めて行く。
・分別の徹底(金属くずのリサイクル化)	○	
・排出ごみの圧縮	○	

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価
・適正管理	○	保管庫にて管理が適正にできている。 今後、環境・人体に安全な溶剤への代替えを進めて行く。
・化学物資安全性のSDSによる管理	○	
・化学物質の記録・管理(在庫、使用量、保管)	○	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価
・推進管理	○	工事前の事前調査等や計画作成行い、材料のロスに足して一定の管理は出来ている。 しかし工事多忙な時は、残材等のロスを多く出る傾向があるので、周知等による意識向上を図る。
・材料発注の適正化(拾出し、在庫品の活用)	○	
・作業の効率化(計画作成、事前準備、配車等)	○	
・ゴミ排出量の削減(余長の低減、端材利用促進)	△	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	自社運搬
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
フロン排出抑制法	フロン類充填回収、エアコン等設置・撤去
高圧ガス保安法	高圧ガス販売(フロン類)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	化学物質関係(塗料等)
労働安全衛生法	化学物質関係(SDS:安全データシート)
毒物及び劇物取締法	化学物質関係
石綿障害予防則	事前調査、計画、報告、届出

環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局からの指摘は、過去3年間ありませんでした。

11-1. 代表者による全体の評価

◆全体の評価

- ・今年度は、節電に関しては、一定程度の削減が確認できた。
- ・会社全体としては、環境対策への取組が浸透してきており、さらなる意識向上を目指す。
- ・次年度は、節電・節水への取組に関して、特に周知徹底等を実施し改善を試みる。

◆今後の取組みについて

- ・次年度は、電力使用量の削減に関して消し忘れ等が内容に周知徹底していく。
- ・市水道の使用量が増加傾向にあるので、利用の見直しや、雨水利用の促進等を徹底する。
- ・また全体の状況把握を行い、周知徹底等にて削減を目指す。
- ・直近は雨水のさらなる利用促進を行い、節水の実施を行う。

11-2.環境対策の歩み

2020年 2月	・環境経営方針の策定(環境経営理念、環境保全への行動指針)
2020年 4月	・節電、節水ステッカー貼付 → 環境負荷低減への取組意識を向上を図る
2020年 5月	・社有車タイヤ交換時 → エコタイヤの導入する方針を決定し燃費向上を図る
2020年 6月	・営業車にスクーター125ccを導入 → 近隣業務時等の燃料消費を削減:40km/L
2020年 10月	・雨水利用タンク(500L)の設置(本社・倉庫) → 社有車等の洗車、道具等の洗浄に活用
〃 〃	・高効率エアコンへの更新 → 通年エネルギー消費効率の向上 :3.4→6.2
2021年 1月	・ハイブリッド車の導入 → 燃費改善:約14km/L → 19km/L
2021年 2月	・旧型の軽バン車両の更新 → 燃費改善および低排ガス車;H17→H29年車
2021年 7月	・事務所へ扇風機(壁付)を導入 → エアコン稼働率の低減と快適性の向上を図る
2021年 8月	・リサイクル先を開拓 → 金属くずのリサイクル化向上を図る
2021年 10月	・ホームページで『環境への取組』のサイトを開設 → EA21レポート等の公開を開始
2021年 11月	・取組の強化・意識改善を実施 → 『3つの心掛けによる取組』を作成・周知
2022年 6月	・雨水利用タンク(300L)の設置(第二倉庫) → 社有車等の洗車、道具等の洗浄に活用
2022年 6月	・シーリングファン(天井ファン)の導入 → 事務所のエアコン利用率低減を図る
2022年 12月	・サッシ断熱材の導入 → 熱の出入りを抑制し、冷暖房効果の向上を図る
2023年 4月	・雨水利用水栓の増設 → さらなる雨水利用の促進を行い、水使用量の削減を行う。